

2019年4月30日は「平成」から「令和」へと改元した日。低成長や災害が続いた「失われた30年」を経て『万葉集』の梅の花に希望を託した新元号が始まりました。理想の世とは言い難い世界情勢ですが、冬を耐え忍んで花開く梅のように、一人ひとりが明日を信じる心はこれからもずっと大切に持ち続けたいですね。

## 知っここ! 「税」のマメ知識

### 今月のマメ知識：【オフィスに飾る絵画は経費で処理できる？】

「オフィスに飾るため絵画を購入しようと考えています。絵画は経費として処理してよいのでしょうか？」という質問がありました。事業などの業務のために用いられる10万円以上の資産で、建物や備品など時間の経過によってその価値が減っていくものを「減価償却資産」といいます。しかし絵画や彫刻などの美術品は、原則として1点につき100万円未満であるものを減価償却資産、100万円以上のものを非減価償却資産として取り扱います。ただし、非減価償却資産であっても「不特定多数の者が利用する場所の装飾用や展示用のもの」「移送困難でその用途のみに使用されるもの」「設置、使用状況からして市場価値が見込まれないもの」など、時間の経過により価値が減少することが明らかなものは減価償却資産、逆に減価償却資産でも価値が減少しないことが明らかなものは非減価償却資産として取り扱われるため注意が必要です。金属製の彫刻などは15年、それ以外の彫刻や絵画、陶磁器などは8年で償却します。



経過によってその価値が減っていくものを「減価償却資産」といいます。しかし絵画や彫刻などの美術品は、原則として1点につき100万円未満であるものを減価償却資産、100万円以上のものを非減価償却資産として取り扱います。ただし、非減価償却資産であっても「不特定多数の者が利用する場所の装飾用や展示用のもの」「移送困難でその用途のみに使用されるもの」「設置、使用状況からして市場価値が見込まれないもの」など、時間の経過により価値が減少することが明らかなものは減価償却資産、逆に減価償却資産でも価値が減少しないことが明らかなものは非減価償却資産として取り扱われるため注意が必要です。金属製の彫刻などは15年、それ以外の彫刻や絵画、陶磁器などは8年で償却します。

## 意外に知らない 暦の話

5月5日は「こどもの日」であると同時に「わかめの日」でもあることをご存じですか。ゴールデンウィーク頃は新わかめの採取が一段落し、おいしい新物が市場に出回ること、また旬のタケノコと取り合わせた定番料理「若竹煮」のシーズンでもあることから、日本わかめ協会が制定しました。わかめが健康食品なのは広く知られるところですが、調べてみるとたしかに体が喜ぶ成分がたっぷり！例えば、血中コレステロール値を低下させ、血糖値の上昇も抑制する食物繊維や、疲労を回復し肩こりを和らげるとされる鉄、骨粗しょう症を予防するビタミンK、美肌づくりを助けるベータカロテン、むくみを防ぐカリウムのほかイライラをしずめてくれるマグネシウムも含まれているとか。生でも乾燥でも塩蔵わかめでも、ヘルシーかつミネラル豊富であることは変わりませんが、生の新わかめが楽しめるのは春だけです。記念日にはこの季節ならではのわかめを味わってみては！

## 気軽にLet's英会話

### 今月のキーワード：【fool】

エイプリルフール (April Fools' Day) が「4月バカ」と訳されるように“fool”は名詞で「バカ者・笑いや者」、動詞で「バカなまねをする・ふざける」という意味です。“Don't make a fool of me!”は「バカにしないで!」、 “Stop fooling around!”は「ふざけるな(いいかげんにしろ)!」です。“Who are you trying to fool?”は「誰をだまそうとしているの?」と、反語的な「自分はだませないわよ」という2つの意味があります。“fool around with 人”で「～と浮気をする」という意味があります。

ハンバーグをこねた後に手が脂でベタベタしたときは、石けんで洗う前に小さじ1杯の砂糖を手に取り、砂糖が体温で少ししっとりするまで両手を擦り合わせ、指の間や爪の周りまでしっかりなじませます。その後ぬるま湯で洗い流せば脂汚れがすっきりと落ちます。

知得する知恵袋

**今月の商売のヒント：【変えられるのは自分だけ】**

従業員のやる気がない。覇気がない。叱咤激励を繰り返しても結果は思わしくない。このような経験はありませんか？精神科医ウィリアム・グラッサーが提唱した選択理論心理学は、この悪循環に明快な答えを示します。それは「他人は変えられない。変えられるのは自分だけ」という原則です。

選択理論によれば、私たちの全行動は「行為」「思考」「感情」「生理反応」の4つの要素で構成されています。朝、デスクを整理するのが「行為」。これで今日も良い一日になると考えるのが「思考」。そこから生まれる前向きな気持ちが「感情」。前向きな気持ちで背筋が伸びるのが「生理反応」です。この4つのうち自分が直接、コントロールできるのは「行為」と「思考」だけです。残りの「感情」と「生理反応」は行為や思考の結果として自然に生じるものなので直接、コントロールしづらい要素です。

優れた経営者は「物事にはコントロールできるものとできないものがある」ことをよくわかっています。直接、コントロールできない従業員のやる気を何とかしようとする代わりに、自らの「行為」と「思考」を変える努力をします。指示の出し方、対話の質、環境づくりといった「自分がコントロールできること」に集中するのです。自分が変われば結果として周囲も変わり始めます。これは相手を変えたのではなく、自分の変化が相手に新たな選択肢を提示したからにほかなりません。

「なぜやる気がないのか？」という思考を「私は関わり方をどう変えられるか」にシフトする。この発想の転換こそが組織を動かす鍵となり、従業員のやる気を促すのです。



今月のいろいろ「掲示板」

**【スタッフブログ】**

NASAの有人月周回ミッション「アルテミスII」が無事に帰還しました。アポロ計画が「短期的な月面着陸」を目的としていたのに対し、アルテミス計画は「長期的な月面活動」を前提とした計画であり、その初期段階が完了した様子です。長期滞在が可能となれば、月面での居住や研究、深宇宙探査の補給拠点として活用されるなど、宇宙ビジネスは加速していくのでしょうか。半世紀を経て、人類の進化を改めて感じるニュースでした。

**杉山会計事務所**  
 〒731-0122  
 広島市安佐南区中筋2-5-25-201  
 電話：082-877-4218  
 FAX：082-877-4219  
<http://www.sugiyama-kaikai.jp>  
 mail：office@sugiyama-kaikai.jp


